



クラスルームをはじめよう

クラスルームアプリケーション教師向けガイド

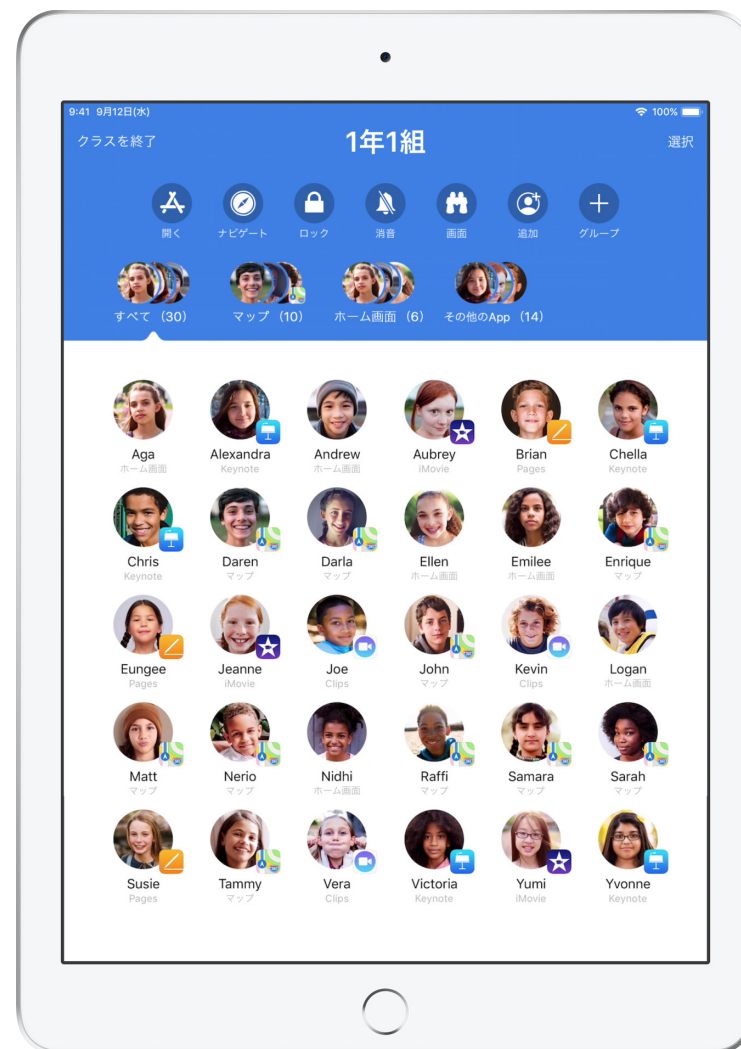
クラスルームの概要

クラスルームは、教師のみなさんが生徒の学習を支援し、学習制作物を共有し、生徒たちのデバイスを管理するのに役立つ、iPadとMacのためのパワフルなアプリケーションです。生徒がデバイスを共有している環境にも、1人1台の場合にも対応しています。教師用デバイスから教室内のどのiPadでも、特定のアプリケーションやウェブサイト、テキストブックのページを開いたり、教師と生徒間でファイルを共有したり、Apple TVを使って生徒の作品をテレビやモニター、プロジェクターに投影できます。生徒がどのアプリケーションを使っているか閲覧したり、生徒のデバイスを消音したり、特定の共有iPadを各生徒に割り当てたり、生徒のパスワードをリセットすることもできます。授業の終了時には、生徒たちのアクティビティの概要を確認することができます。

このガイドでは、クラスルームの概要について説明し、使い始めるための手順と、毎日の授業での活用方法を紹介します。

はじめる前に

クラスルームはApp Storeから入手して、簡単に設定できます。教師のみなさんがIT管理者に頼ることなく手動でクラスを作成することもできますし、MDM管理者のサポートの下、クラスごとの名簿データを自動で構成することもできます。

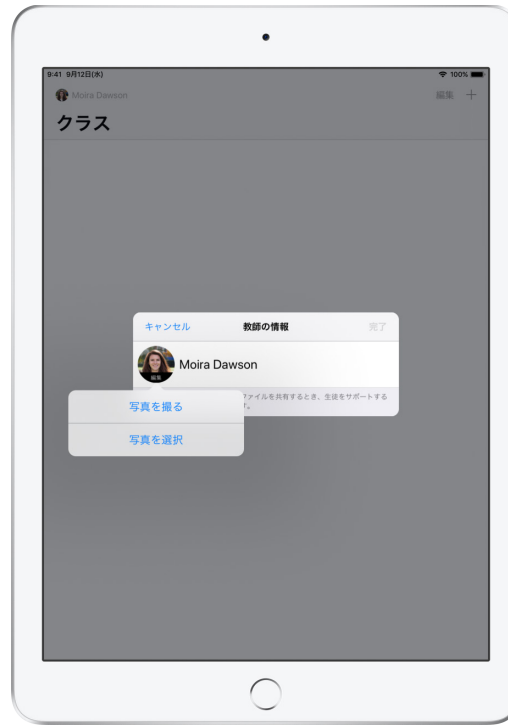


クラスを作成する

クラスルームを使えば、デバイスの管理にMDMを使用していない場合でも、教師のみさんが自分のクラスを手動で設定することができます。



アプリケーションをダウンロードし、クラスルームを起動します。



次に、自分の名前を入力して写真を追加します。この名前と写真は、生徒がクラスに参加したり、ファイルを共有したり、生徒をサポートしているときに表示されます。



クラスの再編成や別のクラスへの切り替え、クラスの追加設定も簡単です。

＋を選択して新しいクラスを作成し、クラスに名前を付け、クラスのカラーとシンボルを選択します。

これ以外の方法として、教育機関のMDMからクラスを設定することもできます(詳しくは、6ページをご覧ください)。

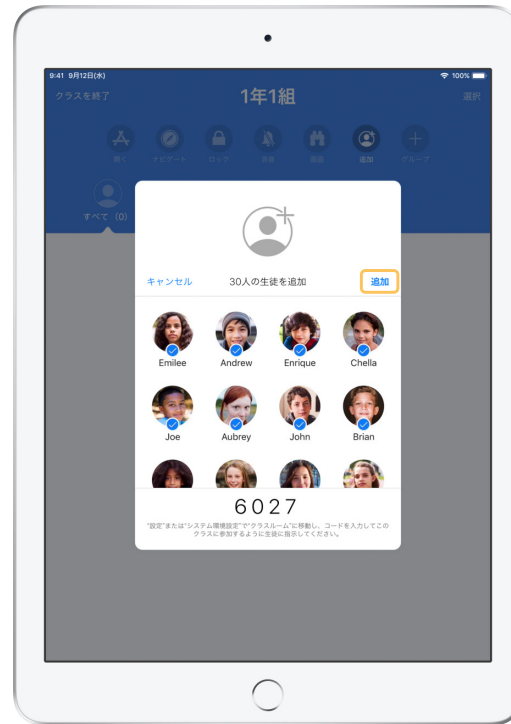
生徒を招待する

生徒をクラスに招待すれば、すぐに授業を始められます。

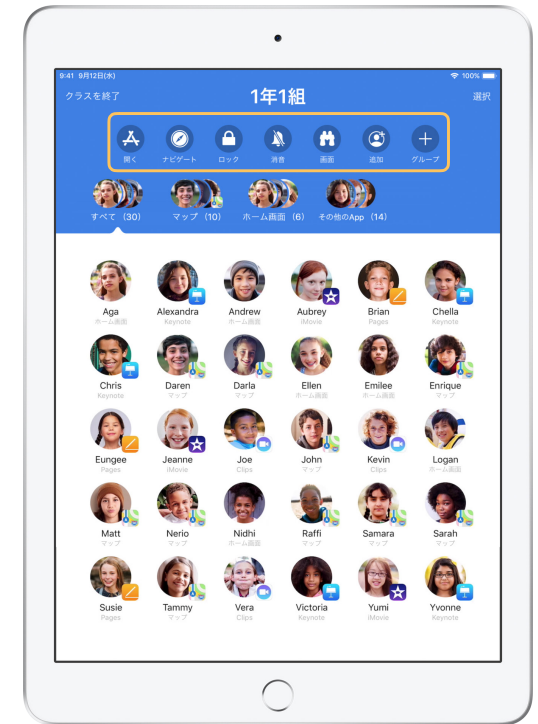


クラスを手動で作成すると、生徒を招待できるようになります。「追加」を選択して、生徒に招待コードを送信します。

クラスルームの機能を使うには、生徒が近くにいる必要があります。



生徒がクラスに参加すると、生徒の名前と写真が表示されます。「追加」をタップすると、生徒がクラスに追加されます。



クラスの画面にはアクションの一覧と生徒の一覧が表示されます。アクションの一覧には、教師が自分のデバイスからクラスに対して実行できることが表示されています。

生徒をクラスに参加させる

クラスに参加した生徒は、教師がどのように生徒のiPadを管理してアクセスするかを自分で決定できます。授業に応じて設定を生徒に指示してください。

生徒のiPad



生徒のiPad



生徒のiPad



教師がクラスへの招待を送信すると、各生徒のiPadの「設定」アプリケーションに、クラスルームの設定が表示されます。生徒は、新しいクラスへの招待のリンクをタップします。

生徒はいつでもこの設定からクラスルームがどのように自分のiPadをコントロールできるかを変更できます。

生徒は「自分の情報」をタップして、自分の名前と写真を編集したり、教師から送信されたコードを入力してクラスを追加することができます。

追加したクラスには毎回自動的に参加できます。コースや学年の終了時には、生徒が自分でクラスを削除できます。

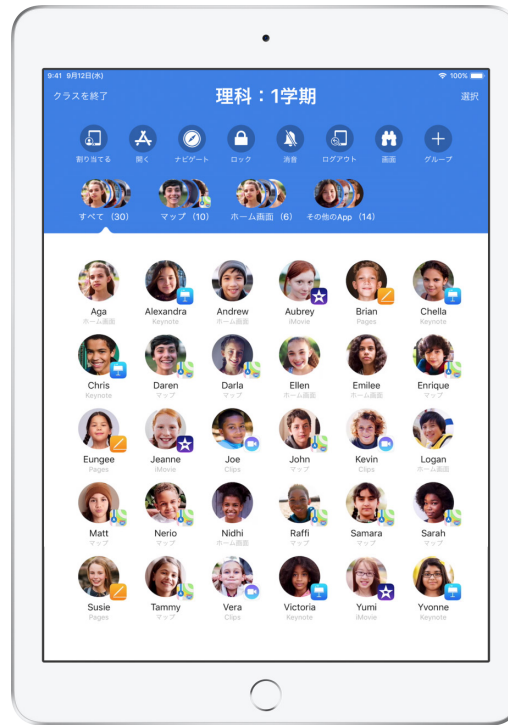
MDMでクラスを作成して使う

モバイルデバイス管理 (MDM) でデバイスを管理している場合は、生徒とクラスの名簿データを使ってIT管理者がiPadまたはMacの設定と構成を完了できます。この方法では、授業時間内で設定作業に時間を使わずすぐに授業を開始できます。さらに、設定と制限を適切に行えば、モバイルデバイスの使用に関する学校のポリシーも守ることができます。



すべてのクラスの設定が完了し、生徒の登録が済んでいるので、すぐに使い始めることができます。

教師が自分でクラスを作成する機能は、MDMを使用していない場合にのみ利用可能な機能です。

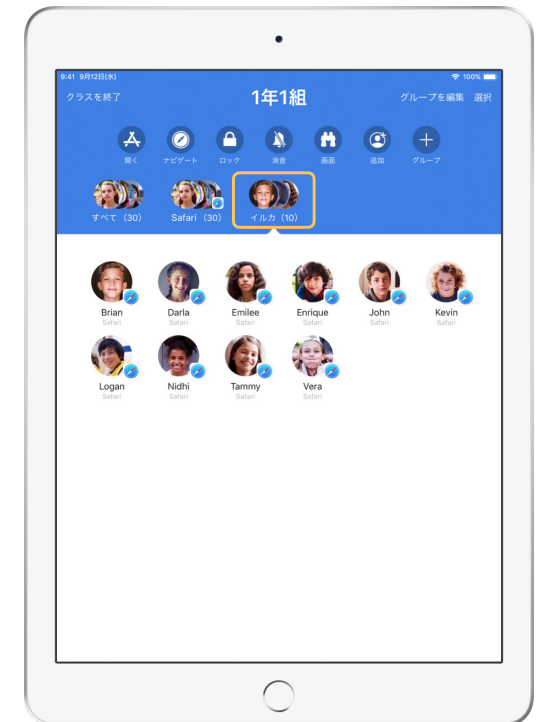
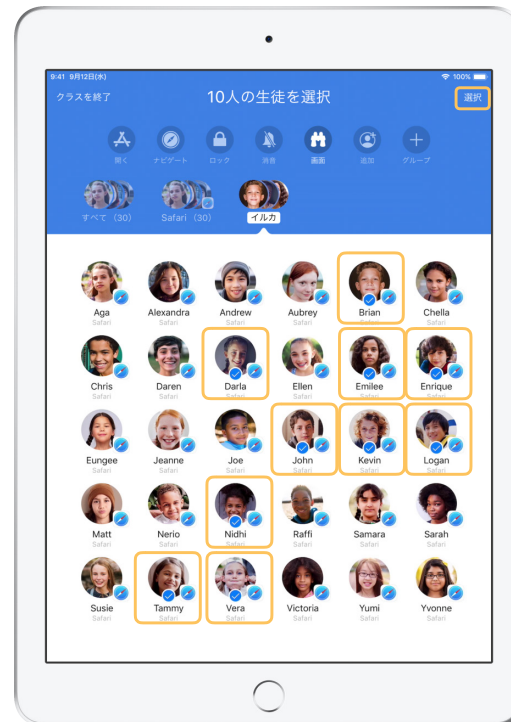
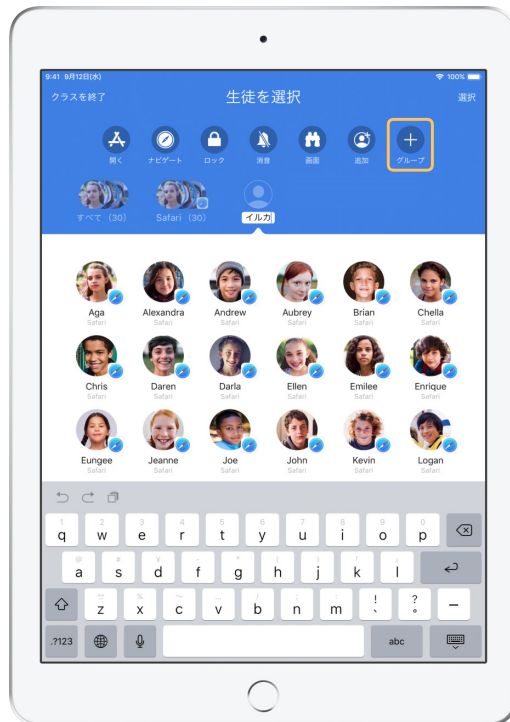


MDMでクラスに登録されている生徒の設定は、学校のIT部門から管理されています。

この場合、生徒のデバイスは常にクラスに登録され、学校の設定とポリシーに基づいた構成になります。

クラス内にグループを作る

クラスルームではクラスの中で複数のグループを作ることができるので、目的に合わせて、生徒一人ひとり、グループごと、クラス全体で教えることが可能です。課題に合わせて生徒をグループに分け、グループごとに違うことをさせることもできます。



アクションの一覧で「グループ」をタップし、プロジェクト別、能力別など、カテゴリーに応じてグループに適切な名前を付けます。

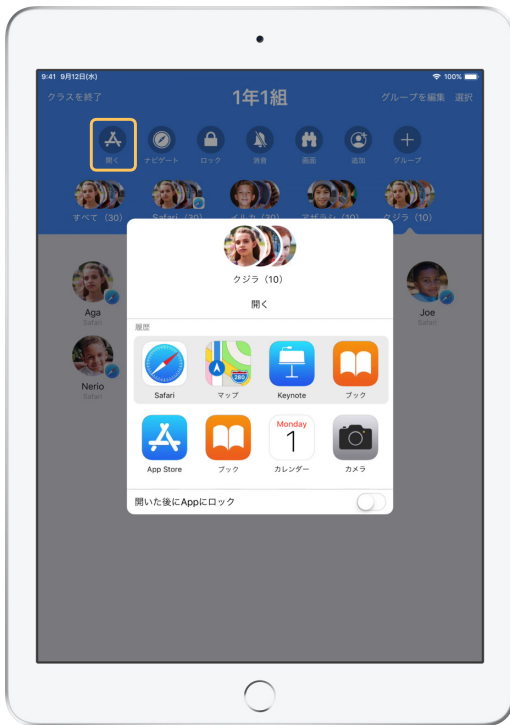
グループに入れる生徒を選択し、「完了」をタップします。

作成したグループがグループの一覧に表示されます。

クラスルームでは、生徒が使用しているアプリケーション別に、グループが動的に作成されます。

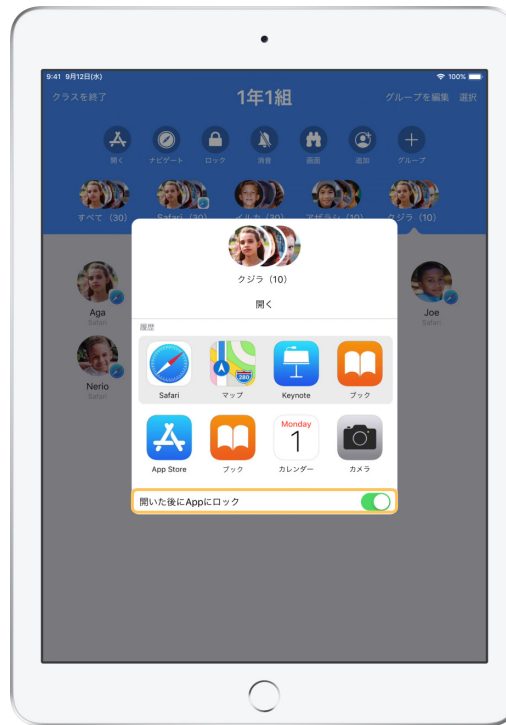
アプリケーションの起動とロック

特定のアプリケーションを、各生徒のiPad上で同時に立ち上げましょう。生徒が目の前の課題やテストに集中できるように、iPad上に表示されるアプリケーションを一つにロックすることもできます。

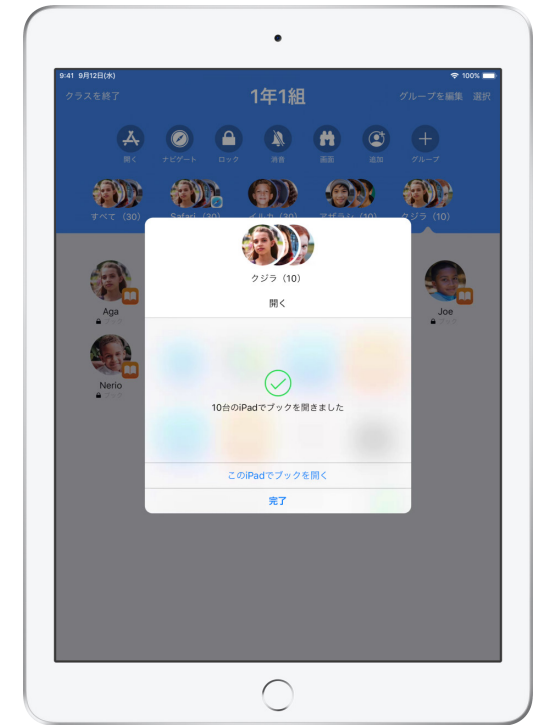


「開く」をタップしてアプリケーションの一覧を表示し、開きたいアプリケーションを選択します。

この機能を使うには、教師と生徒両方のデバイスにそのアプリケーションがインストールされている必要があります。



生徒のデバイスのアプリケーションをロックするには、右下にある「開いた後にApp内でロック」を選択します。

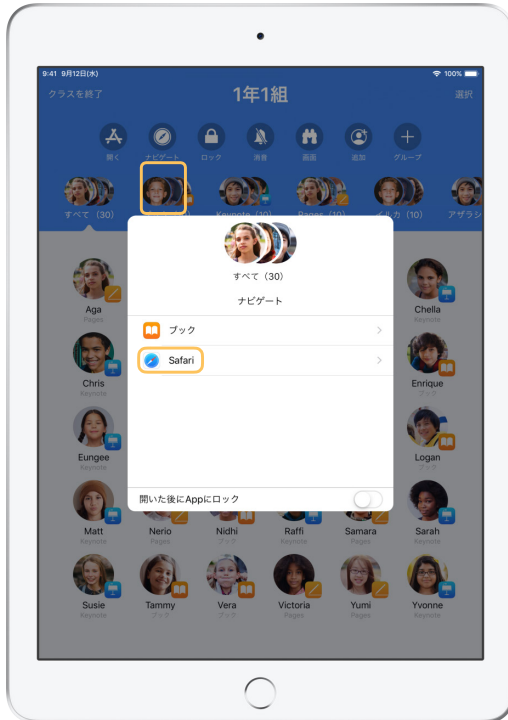


すべての生徒のiPadでアプリケーションが開きます。

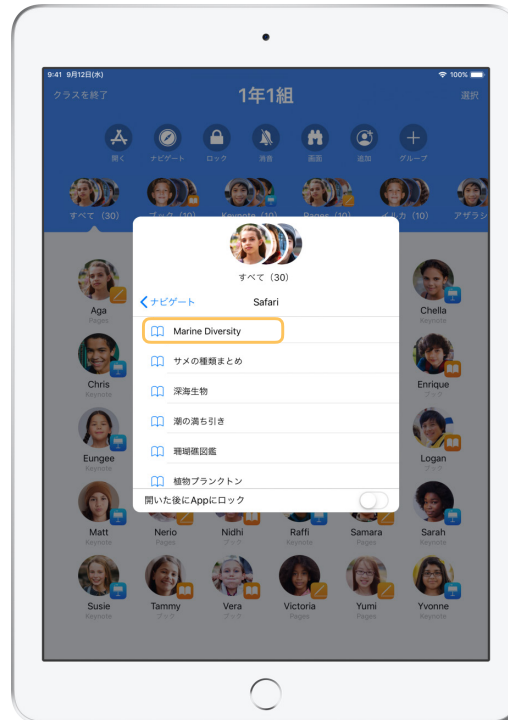
「完了」をタップするか、自分のiPadで同じアプリケーションを開きます。

特定のコンテンツにナビゲートする

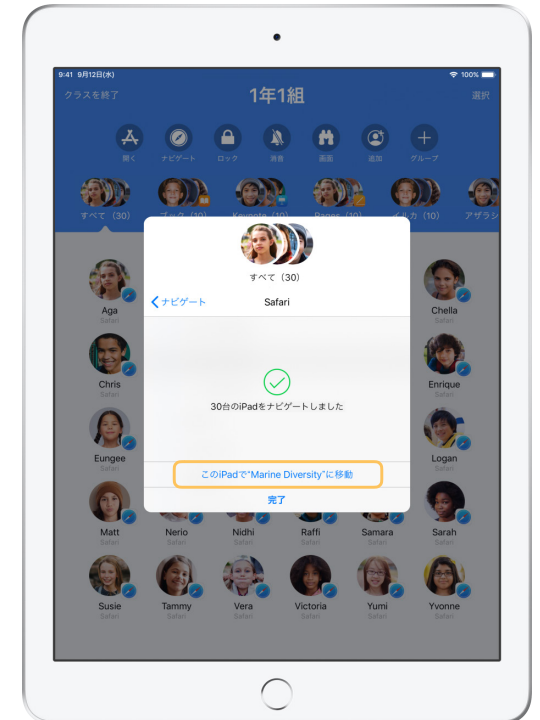
クラスルームでは、Apple Booksで開いたブックのチャプタ、iTunes Uコースの投稿や教材、Safariでブックマークしたウェブページなどに生徒の画面をナビゲートできます。



「ナビゲート」をタップして、オプションの一覧からSafariを選択します。



クラス全員に表示させたいページのブックマークを選択します。

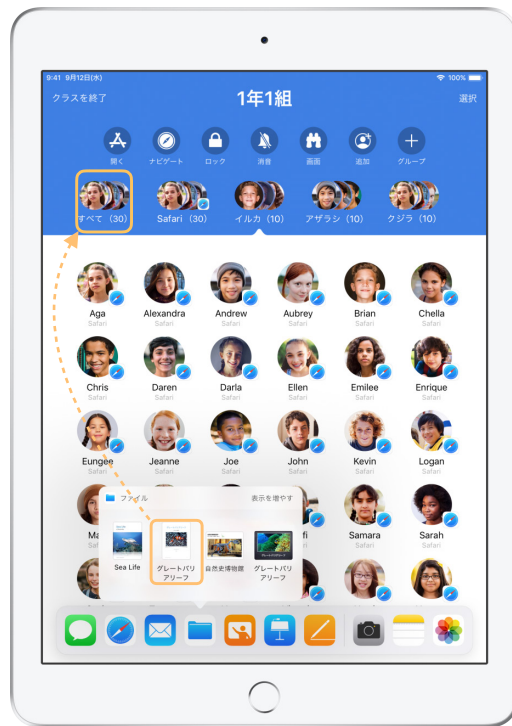


クラス全員の画面がSafariでブックマークしたページに移動します。

「完了」をタップするか、自分のデバイスで同じウェブリンクを開きます。

ファイルを共有する

クラスルームでは、iOSのマルチタスキング機能と連係して、ワークシートやプレゼンテーション、写真やビデオなどのファイルを、生徒と簡単に共有できます。



画面の下から上へスワイプし、Dockを表示させます。「ファイル」アプリケーションを長押しして、最近使った項目を表示させます。ファイルを生徒、グループ、あるいはクラス全員にドラッグします。



または、クラスルームの横に、別のアプリケーションを並べて開き、ファイルやリンクを生徒にドラッグすることもできます。

生徒のiPad



共有したファイルを受け入れるよう生徒に指示します。生徒は、アプリケーションを選択して教師が共有した書類を開いたり、保存できます。

ファイルは各生徒のiPadに保存されます。

ファイルを受信する

クラスルーム上で生徒から共有されたファイルやリンクを表示できます。

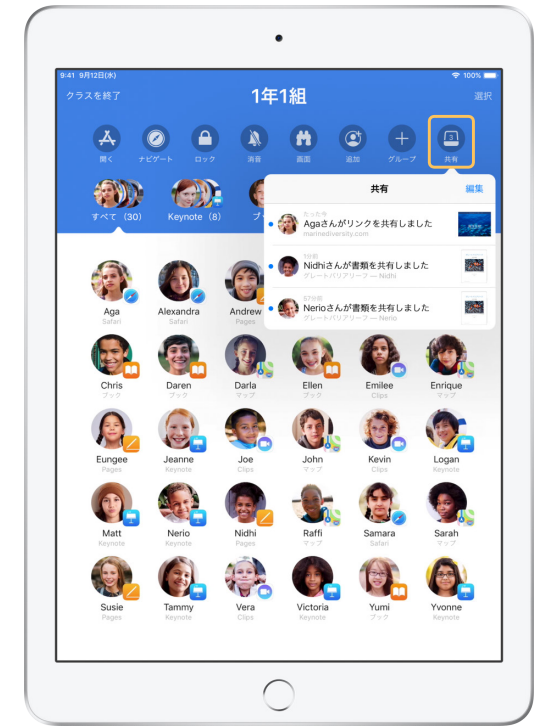
生徒のiPad



生徒はアプリケーションの共有シート上からあなたの名前を選択し、ファイルやリンクを直接共有できます。



通知をタップしてクラスルームを開いて、共有されたファイルを確認します。

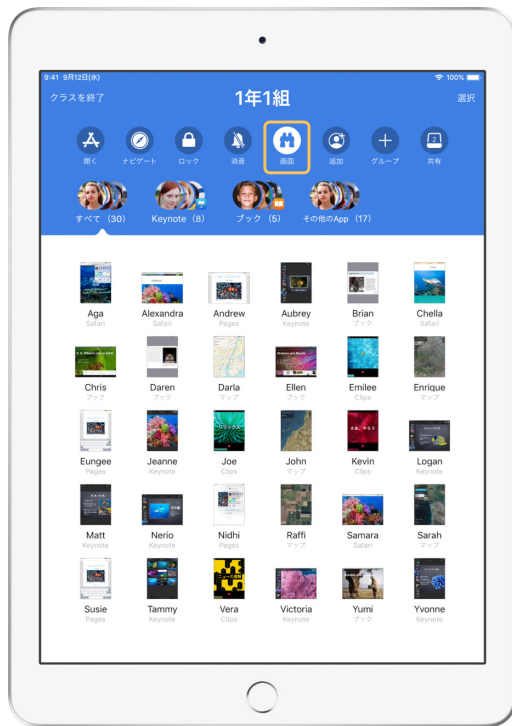


「共有」をタップすると、共有されたすべてのアイテムのリストが表示されます。確認するアイテムをタップして、各アプリケーションで開きます。

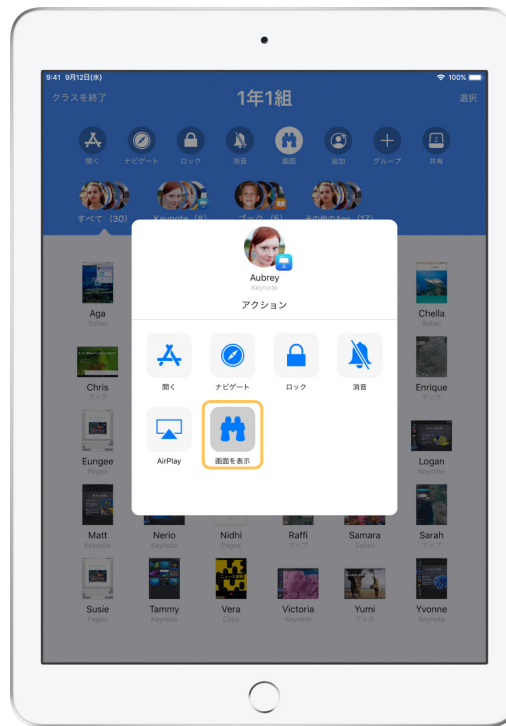
共有されたファイルは一度開くと、教師のiPadまたはMacに保存されます。

生徒の画面を見る

教師のデバイスに生徒の画面を直接表示して、課題やテストの進み具合を確認することができます。



「画面」をタップして、それぞれの生徒の画面を表示します。
この機能は必要に応じて無効にすることができます。



特定の生徒の画面を表示するには、その生徒を選択して
「画面を表示」をタップします。



生徒のデバイスのステータスバーが青に変わり、教師が画面を
見ていることがわかります。

生徒の作品を大画面で共有する

教室にApple TVがある場合は、教師用デバイスから生徒の画面をテレビのモニターやプロジェクターに映し出すことができます。生徒の作品をクラスに紹介したり、協働学習を進めたり、クラス全員で一つのことをやる場合にも効果的です。

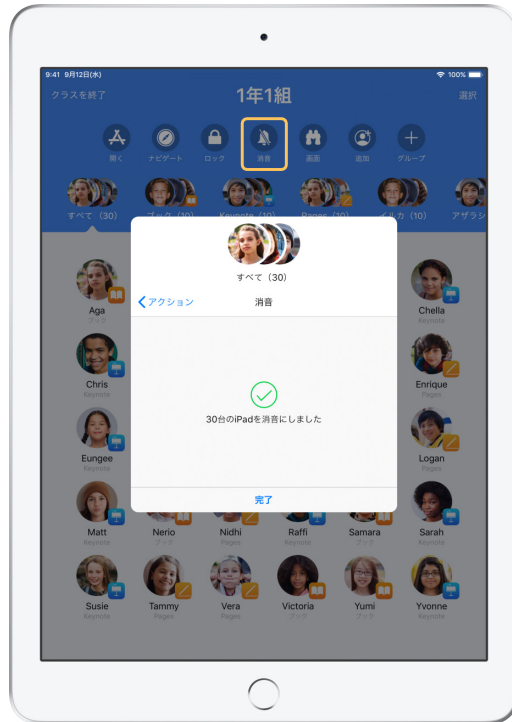


アクションの一覧から「AirPlay」を選択してApple TVに生徒の画面を映します。一覧から適切なApple TVを選択します。

選択したApple TVに生徒の画面が表示されます。

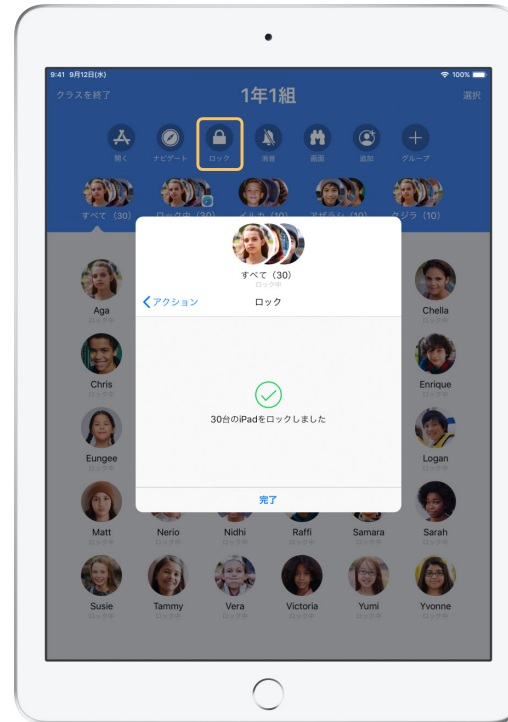
消音する、画面をロックする

生徒のiPadから出るサウンドが授業の妨げになる場合は、個々のデバイスまたはすべてのデバイスを消音できます。また、大事なことを話す時など生徒にこちらに注目してほしい場合には、各iPadをロックすることもできます。



消音するには、生徒個人、グループ、またはクラス全体を選択して「消音」をタップします。

生徒のデバイスからサウンドが出なくなります。



デバイスの画面をロックするには、生徒個人、グループ、またはクラス全体を選択して「ロック」をタップします。

画面ロックを解除するには、「ロックを解除」をタップします。

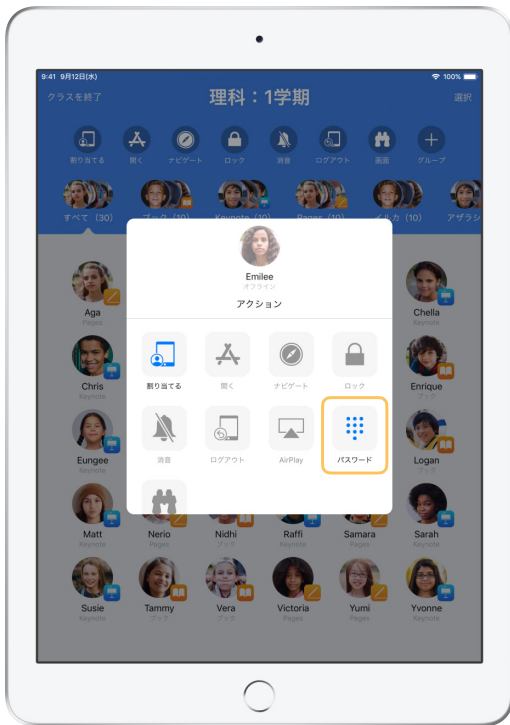
生徒のiPad



画面がロックされ、生徒はロックが解除されるまでデバイスを操作できなくなります。

生徒のパスワードをリセットする

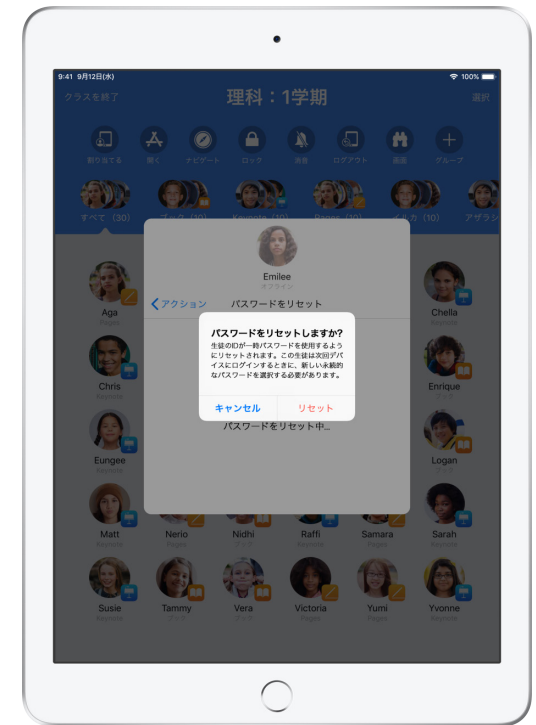
教育機関として管理対象Apple IDを使用している場合は、クラスルームを使って生徒の管理対象Apple IDのパスワードをリセットできます。



生徒の名前をタップして、「パスワード」を選択します。



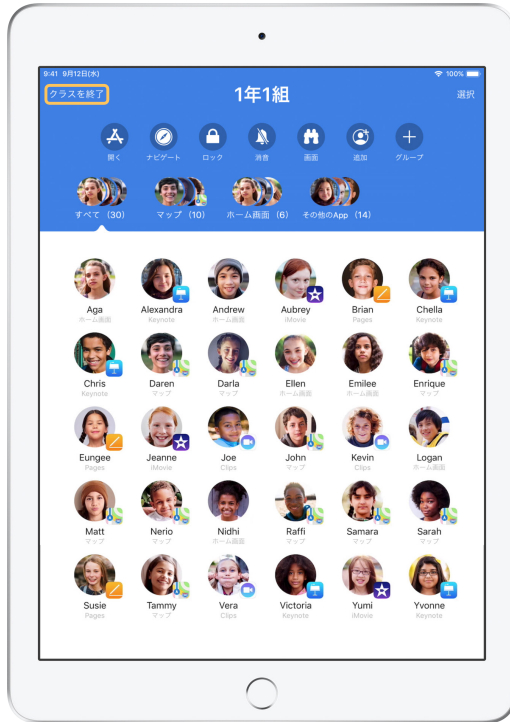
教師用の管理対象Apple IDとパスワードを入力し、2ファクタ認証を行って「完了」をタップします。



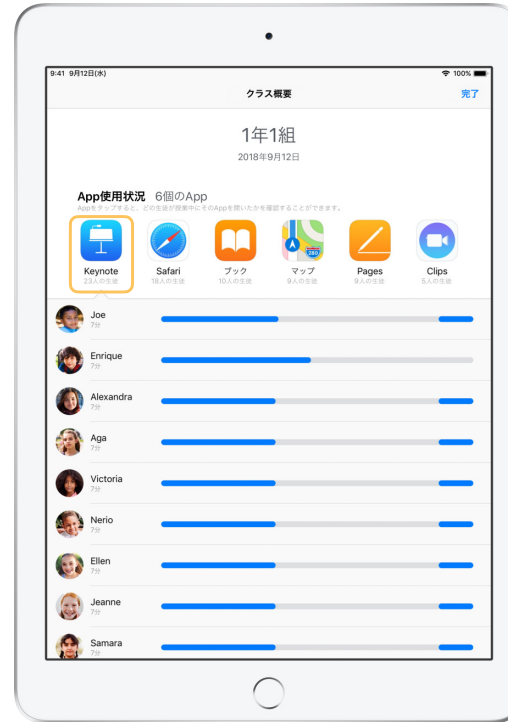
生徒は一時的なパスワードを使用して、共有iPadにログインするか、別のデバイスでiCloudアカウントにログインし、新しいパスワードを設定できるようになります。

クラスを終了し、「クラス概要」を確認する

授業が終わったら、簡単に生徒のデバイス制御を終了し、授業中に生徒が行った活動の概要を確認することができます。生徒の学習内容を確認したり、授業中に保存できなかったファイルを保存したりするのに便利です。

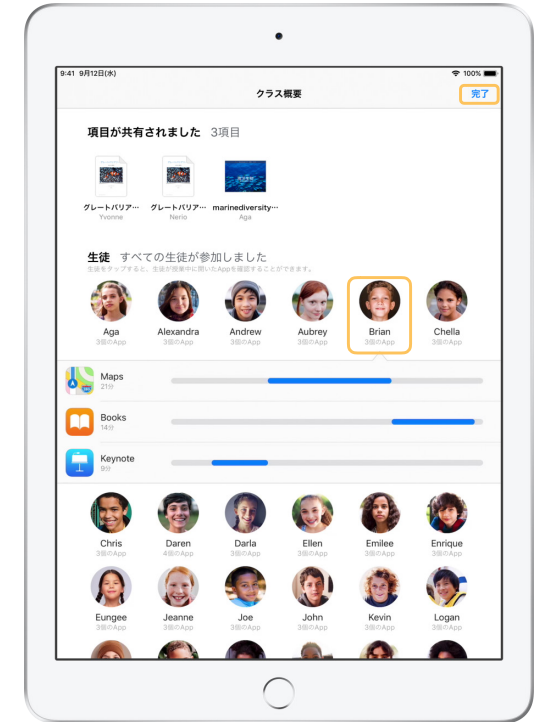


「クラスを終了」をタップします。



「クラス概要」には、生徒が使用したアプリケーションの概要が表示されます。アプリケーションのアイコンをタップすると、そのアプリケーションを授業中にどの生徒がどれだけの時間使用したかを確認できます。

「項目が共有されました」セクションにあるファイルまたはリンクをタップすると、生徒から共有されたファイルやリンクを確認して自分のiPadに保存することができます。



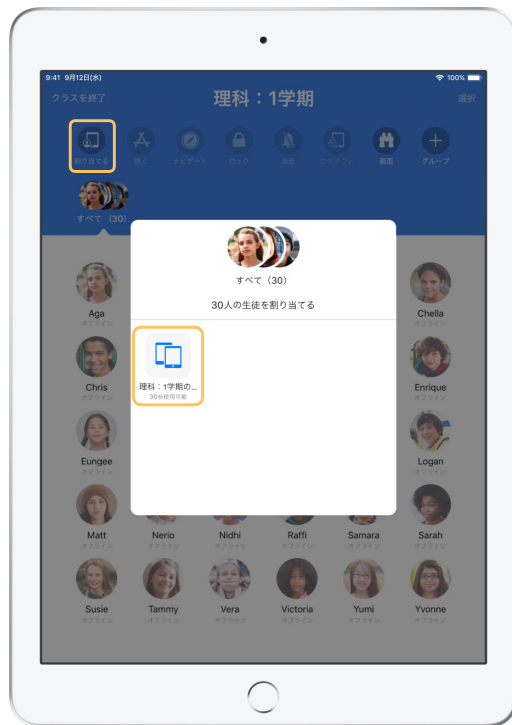
生徒名をタップすると、その生徒が授業中に使ったアプリケーションを確認できます。

「完了」をタップして、「クラス概要」を終了します。生徒の活動内容と、保存されていない共有項目は削除されます。

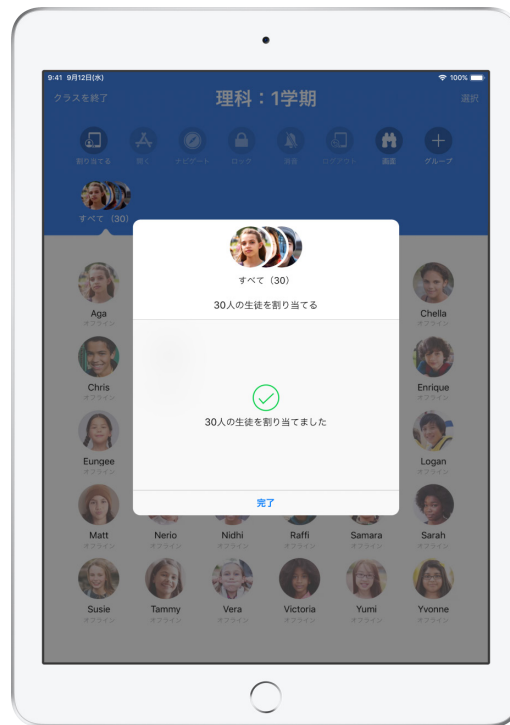
クラスルームの画面が「自分のクラス」に戻り、生徒のデバイスにアクセスできなくなります。

生徒に共有iPadを割り当てる

MDMでクラスルームを構成して共有iPadを使用している場合は、各iPadを各生徒に割り当てることができます。クラスルームは、生徒が前回どのiPadを使っていたかを識別し、同じデバイスを生徒に割り当てます。データをダウンロードする時間が節約できすぐに授業を始められるので、学習体験がよりよいものになります。



「割り当てる」をタップすると使用可能なデバイスが表示されるので、そこから選択します。



これで選択したデバイスが割り当てられます。

生徒のiPad

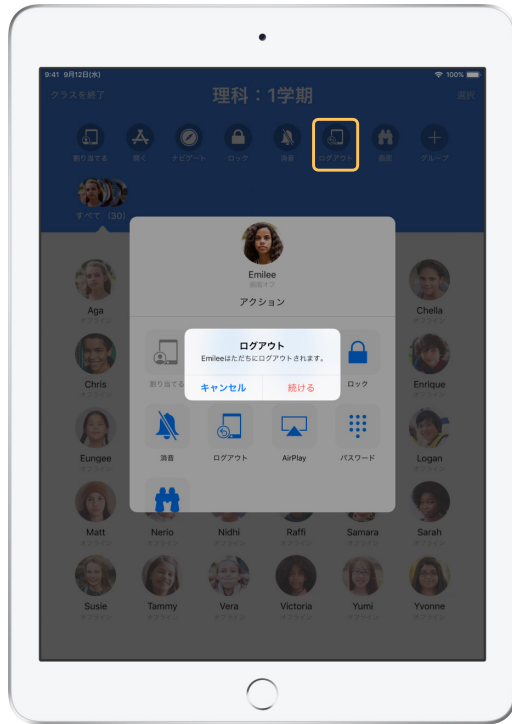


各デバイスには割り当てられた生徒のPhoto IDかイニシャルが表示されるので、生徒が簡単に自分のデバイスを見つけてログインできます。

共有しているデバイスからログアウトする

授業が終わったら、教師のデバイスから生徒個人、グループ、またはクラス全体をログアウトすることができます。生徒がログアウトすると作業中のファイルはクラウドに同期され、次回ログインした時に作業を再開できます。

生徒のiPad



生徒個人、グループ、またはクラス全体を選択して「ログアウト」をタップします。



生徒が自分のデバイスからログアウトすると、ファイルはクラウドに保存されます。

